

学校だより

令和元年5月31日
No. 3 6月号
横浜市立瀬谷第二小学校
校長 泉 太郎

学校教育目標

友情わく 力わく 希望わく 毎日わくわくする学校



「つながりと共有」

副校長 坂本陽子

先週末は、北海道でも35℃近くまで気温が上昇し、横浜でも30℃を超える真夏日を記録しました。ここ近年、暑くなる時期が早くなったり、真夏日を超える日が続いたり、気候変動を感じるが多くなりました。身体が暑さに慣れず、体調が整いにくいこともあるかと思いますが、睡眠、休養、栄養、運動などのバランスを考えた生活を心がけたいと思います。

4月6日（土）に地域で行われた「安心散歩の日」。校長、地域の方々、区役所等の方々と学区にある神社、お寺などに寄り、ゆっくりと街並みを感じながら1時間半ほど歩きました。歩いていると幹の太い立派な大木を目にすることがあり、その姿から長年この街を見守り、生き続けてきた歴史に思いを馳せました。歩き終えた左馬神社では、お汁粉をふるまっていたいただき、一緒に歩いた皆さんとお話をする中で、「地域」や「人の繋がり」を大事にされていることがわかり、温かい気持ちになりました。

先日、6年生の社会科見学で横浜市歴史博物館に行きました。半日ほど一緒に過ごした中で、印象的だったことがあります。それは、集団で行動するときの約束が頭に入り、駅、ホーム、道の歩き方、電車の中でのマナーがきっちりと守られ、博物館の見学態度も含め公共の場所での振る舞いができていることです。また、子ども同士よく関わり合っていました。熱心に見学している友達を待ったり、見学したメモを見ながら学びあったりしている姿は、お互いを尊重しているようでした。これは、今までの経験、関わり、指導が一人ひとりの学びとなり、成長した姿となって表れているのだと思います。

他にも学校内外で、多くの輝く姿やシーンを見ることがありました。

- ・登下校では、しっかりとあいさつする子
- ・教室では、自分の考えを伝え、学び合う姿
- ・休み時間には、校庭で思い切り体を動かしている子
- ・額に汗しながら、掃除をしている子
- ・「お魚食べられたよ！」と、笑顔で話してくれる子

そして、子どもたちの教育活動を支えてくださる、PTA本部、役員、学習支援ボランティアの皆さん、登下校を見守ってくださる地域の方。瀬谷第二小学校の子どもたちに関わる大人が、しっかりと繋がり、大切にしようとしていることを共有しながら、それぞれの立場で子どもの成長を見守ってまいりましょう。

今年度、南区の永田台小学校から参りました、坂本と申します。瀬谷第二小学校のよさをさらに伸ばし、子どもたちが生き生きと充実した活動を行い、たくさんの「わくわく」を目にするように努めてまいります。引き続き、学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

～すべては、子どもたちのわくわくのために～

5/9(木) 6年・人権教育(アントママ)



一人一人が大事にされる心情を育てるということをねらいとして、瀬谷区発達障害理解啓発グループ「アントママ」の出前講座を実施しました。

「障害」とは何か、アントママさんが分かりやすく説明してくださいました。特に「ピカピカ王国」という設定の下、言葉が伝わらない状況を知ることができ、「障害」を抱えた方たちの困り感を知ること、私たちにできることは何だろうかと真剣に考える時間をもつことができました。少しでも自分にできることを実践できる子どもたちになってくれるとよいと思います。



私が当たり前にも思っていることも、実はたくさんの方のサポートが必要なんだと思いました。また、障害をかかえている方も、同じように私たちからのサポートが必要だと思いました。まず、小さなことからサポートしていきます。そして多くの方が笑ってくれたらいいなと

坂本先生のやっていた疑似体験で一つわかったことがあります。言葉がちがってもいっていることは何となくわかるということです。車椅子に乗っている人、目が見えない人、しゃべれない人はたくさんいます。でも、その人たちと分かり合うことが大事なんだなと思いました。

障害をもっている人でもすごい発明をしたり、人生を変えられる人たちがいるんだと思いました。最後に読んでくれた絵本で、みんなは丸い形なのに一人だけ四角くて孤独をすごく感じました。けれど、自分の個性を出して、みんなと仲良くできました。個性は、一人ひとりに絶

ぼくは、音を調整できるけど、全部の音が同じように聞こえる人がいて、その音を実際に聞くとすごく騒がしいし、ずっと聞いていたら耳が悪くなりそうで、かわいそうだなと思いました。また、自分に悪いところがあっても必ず一つは自分に良いところがあるというのも、個性

5/17(金) 6年・歴史博物館見学



最高の五月晴れのもと、横浜市歴史博物館に見学に行きました。館内のマナーに気を付け、熱心にメモを取り、意欲的に見学をすることができました。

午前中は博物館内で、古代から近現代の展示物を見て学んだり、火起こしを体験したりして、多くの歴史にふれました。午後は、博物館横にある大塚歳勝土遺跡でガイドさんの案内のもと、弥生時代の暮らしについて学習しました。真剣にガイドさんの話に聞き入ったり、竪穴住居に入ったり、昔の人の暮らしを想像し、その時代にタイムスリップしたかのような時間を過ごすことができました。見学中に浮かんだ疑問をこれからの社会科の学習で解決していきたいと思います。

「学校の顔」の最高学年として、電車の中では、一般の方の迷惑にならないように、とても静かに過ごすことができました。今後の校外学習、学年での活!



5/16(木)4年・水道出前授業



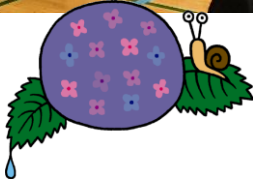
水道局の方々を招いて、水道出前教室が行われました。自分たちが普段何気なく飲んだり使ったりしている水がどのようにして作られているのか、実験を交えて、楽しく学ぶことができました。



林があることで、水がきれいになる緑のダムの実験をみて、森が必要だとわかって、すごいと思いました。

水道のことや水のことをよくわかりました。社会は少し苦手だったけど話を聞いて好きになりました。

私たちが普段安心して水を飲めるのは、浄水場で水をきれいに行っているからだわかりました。もっと、水の勉強をしたいです。



5/24(金)2年遠足・よこはま動物園ズーラシア



「よこはま動物園 ズーラシア」に行ってきました。心地よい風の吹くよいお天気の中、子どもたちは元気いっぱい過ごしていました。園内のグループ見学では、お互いに声をかけ合い、協力してクイズを解いたりポイントに回ったりして、思い出に残る遠足になりました。



わたしは、ズーラシアでインドゾウを見ました。二とういて、一とうは、ずっと、おきあがったり、ねっころがったりしていました。もう一とうは、ずっとはなで、すなをすくったり、出したりしていました。

2年生みんなで、遠足に行ってきました。ズーラシアでゾウやキリンを見ました。キリンが草を食べているところを見たとき、ベロが長くてまっ黒でした。おもしろかったです。

ズーラシアでオカピがごはんをたべているところを見ました。むらさき色の長いベロで、はっぱをおとさないように、もぐもぐたべていました。

とてもかわいかったです。

キリンがエサをたべているかおが、少しまがって見えました。くふうをして一生けんめいに、かんでいるのかと思いました。でも、おもしろいかおだったので、笑いそうになりました。

